

<研究名称>

糖尿病ステイグマに関する患者意識調査

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 所 属 糖尿病・内分泌内科  
職 名 医師  
氏 名 安孫子 亜津子

実施担当者 所 属 糖尿病・内分泌内科  
職 名 医師  
氏 名 辻 賢

所 属 糖尿病・内分泌内科  
職 名 医師  
氏 名 宿田 夕季

所 属 糖尿病・内分泌内科  
職 名 医師  
氏 名 佐々木 大河

所 属 看護部（糖尿病・内分泌内科 外来）  
職 名 看護師  
氏 名 高橋 淳子

所 属 看護部（糖尿病・内分泌内科 外来）  
職 名 看護師  
氏 名 横堀 洋子

所 属 看護部（3みなみ病棟）  
職 名 看護師  
氏 名 池田 早弥香

#### <研究期間>

アンケート回収期間：倫理委員会承認後から 2021 年 12 月末まで

集計期間：2022 年 6 月末まで

#### <診療・研究の目的>

スティグマ (stigma) とは、特定の属性に対して刻まれる「負の烙印」という意味を持ち、誤った知識や情報が拡散することにより、対象となった者が精神的・物理的に困難な状況に陥ることを指す。糖尿病患者では健常者と変わらない生活を送ることが治療の大きな目的であり、治療法の進歩によりそれが可能となってきている。ところが、糖尿病であるということだけで、必要なサービスが受けられない、就職や昇進に影響する、などの不利益を被ることが報告されている。スティグマを放置すると、患者が糖尿病であることを周囲に隠すようになっていたり、治療の中断原因ともなり、結果として、適切な治療の機会を失い、糖尿病やその合併症が重症化してしまう場合が起こりうる。このことは国民全体の健康寿命の短縮、医療費の増大や産生性の低下などにもつながり、個人の問題だけではなく、社会全体に悪影響を及ぼすこととなる。

2019 年 11 月に日本糖尿病学会と日本糖尿病協会は、糖尿病患者をとりまくスティグマの影響を改めて認識し、それを取り除くことで糖尿病であることを隠さずにいられる社会を作ることを目指して、共同でアドボカシー委員会を設立し、声明を発表した (資料：[www. fa. kyorin. co. jp/ jds/ uploads/ advocacy\\_ pressrelease. pdf](http://www.fa.kyorin.co.jp/jds/uploads/advocacy_pressrelease.pdf))

また、「糖尿病」という病名自体がスティグマの原因の 1 つにもなっていることが指摘されている。日本糖尿病協会が 2016 年に全国ヤング DM カンファレンスにて 67 名にアンケート調査を行った結果、約半数が、病名が気になるとの回答で、病名を変えてほしいといった意見も約半数で認められた。近年では痴呆症が認知症へ、精神分裂病が統合失調症へなどと病名が変更となって、定着してきている例が認められる。今後、糖尿病の病名自体を再検討する必要性もありうる。

そこで今回のアンケートでは「糖尿病」の病名への意識について、糖尿病患者と糖尿病以外で通院中の患者で差があるのかどうか、また病名を変更した方が良いという意見のものがどれくらい存在するのかを調査する。さらに糖尿病患者の中でもインスリン治療をしていると、糖尿病の末期状態など、間違った認識をしている場合があり、糖尿病患者と非糖尿病患者で間違った認識をしている人がどれくらいいるのかも確認する。糖尿病患者に対しては、実際にスティグマを感じて生活しているのかどうか、治療自体がスティグマに関わっている可能性に関して調査を行う。

#### <実施内容（方法）>

- 1) 調査対象者：旭川赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 外来通院中の患者  
および入院中の患者
- 2) 調査除外者：自己でアンケート記載が難しい人（認知機能低下、視力障害、手の障害  
など）調査協力を拒否をした人
- 3) 調査方法：通院患者に来院時に外来にてアンケート用紙を配布し、回答を回収する。  
アンケート内容は全 13 問からなる。  
アンケート表面の問 1～6 は全対象者から、さらに裏面の問 7 ～13 は糖尿病患者から  
回答をしてもらう。
- 4) アンケート回収期間：倫理委員会承認後から 2021 年 12 月末まで
- 5) 調査集計方法：各質問項目の各人の回答をエクセルデータとして全体の集計を行う。  
回答属性については、①糖尿病患者と非糖尿病患者、②性別、③年齢層（30 代以下、40  
代、50 代、60 代、70 代、80 代以上）、④インスリン治療の有無、⑤自己申告の HbA1c  
値階層（7%未満、7.0～7.9%、8.0%以上）で分類し、各層で意識の違いがあるかどう  
かを比較検討する。
- 6) 結果の公表：調査結果は、希望者に対しては患者へ公開して、患者間での意識の共有  
を行う一つの手段としていく。また当院および地域の医療関係者へ公表することで、医  
療者へのスティグマに対する意識の向上を目指す。全国的には糖尿病関連の学会、学会  
誌などで結果を発表し、当院通院中の患者の意識として公表し、アドボカシー運動の一  
貫として旭川の地から発信する。

#### <危険性（副作用）等>

アンケート用紙には個人名や ID は記載せず、個人を特定できない方法で調査・集計するた  
め、特に危険性などはないと考えられる。

#### <倫理上問題になると考えられる事項>

本調査はアンケート方式であり、侵襲的な治療などを伴うものではない。個人情報保護のた  
め無記名としているが、回答結果の心理的背景に配慮してアンケート用紙の管理は厳重に  
行う。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

糖尿病・内分泌内科 安孫子 亜津子

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648